

学級活動指導案（1年）

平成26年9月11日(火曜日) 第5校時 1年教室

1 議題 「 はじめてのうんどうかいをみんなでがんばろう 」

内容(1)学級や学校の生活づくり ウ 学校における多様な集団の生活の向上

2 考察

(1) 題材観

本題材は、学級活動の内容「(1)学級や学校の生活づくり ウ 学校における多様な集団の生活の向上」に関わるものである。

児童は、4月に本校に入学し新しい環境や友達に囲まれながら学校生活を送ってきた。何にでも頑張ろうという気持ちが強く、授業中の挙手も多い。休み時間は皆、外へ出て元気よく遊ぶ。縦割り班で行っている清掃活動では、上級生に手本を示してもらいながら、小さい体で一生懸命机を運んだり雑巾がけしたりする姿が見られる。

元気な一方、中には自分の言いたいことだけ話して友達の話は聞けなかったり、自分の意にそぐわない遊びであると友達との遊びの途中であっても放り出したりしてしまったりする児童も見られる。また、強い口調の話し方をする人やリーダー的な人の言うことに押し切られて物事が決まってしまう自分の思いを聞いてもらえずに我慢してしまう児童もいるように見える。言い争いが起きた際、教師が中に入りそれぞれの言い分をよく聞き気持ちを代弁してやることで分かり合えると、お互いの思いを理解しきれずに誤解してしまった結果仲たがいをしていたということも少なくない。

このように、この頃の児童は、人の話を正しく聞いて判断し話合いで解決する、という力も経験も不足している。人間関係が希薄であったり、他人に対する共感的理解が十分でなかったりすることも昨今の課題として挙げられている。社会性は、集団生活において児童一人一人が自分の役割や責任を果たす経験を積み重ねることにより次第に身に付いていく。そこで、聞くことを大切にしたい話合い活動を取り入れ、初めての運動会に向けてみんなで頑張ることを自分たちで決めて取り組んでいくことは、学級へまたは学校への所属感を高め、集団の一員として自分の力を生かそうとすることにつながるであろう。さらに、集団の中で人の話の聞き方を身に付けお互いの思いを理解し合えば、児童の人間関係も豊かになり、学校生活をより有意義なものにできると考え本題材を設定した。

(2) 児童(生徒)の実態及び指導方針(男子8名 女子10名 計18名)

本校は、全校児童127人で、1学年単学級または2学級の小規模校であり、1年生は18名の単学級である。これまでに話合い活動の経験はなく、本時が初めての話合い活動であるので、事前にまず「話合いって何?」というところから始める必要がある。また、自分の考えを進んで挙手・発言する児童は多いが、人の話を聞くことは得意でなく、聞いたことを受けて話したり、人の話を正しく理解することが難しい児童もいる。自分の思いが強く、友達の意見を受け入れることや、みんなの意見を生かそうというところまでは達していない。

そこで、指導方針として、「まず、人の意見を聞きながら最後まで聞く」ことや「人の意見を聞いて、それをもとにして自分の意見を話す」等、話合いを通して「聞く」ことを特に大切にしながら、聞き合い・分かり合おうとすることができるようにする。

3 研究との関わり

「集団としての意見をまとめていこうとする児童の育成」
～「話合い大作戦!」を取り入れた学級活動(1)の指導の工夫を通して～

研究仮説

① 聞き合いタイム

「話し合い大作戦！」の話し合う過程において、聞く視点と学級の実態に合った聞き合いパターンを用いる「聞き合いタイム」を設定することによって、友達の意見を正しく理解し公平に判断して、様々な意見を受け入れることができるであろう。

② しんかタイム

「話し合い大作戦！」で、意見を聞き合った後に比べ合いの視点を手がかりとし、めあてに向かって自分の意見を見直す「しんかタイム」を設定することによって、自分の意見を集団としての意見へと深めていくことができるであろう。

③ 分かり合いタイム

「話し合い大作戦！」の比べ合う過程において、視点を与えた「分かり合いタイム」を設定することによって、みんなの意見のよさを生かしながら合意点を見いだすことができるであろう。

本時における具体的な手立て

- ① 聞き合いタイムでは、聞く視点である「うさぎの耳」を意識し聞くことを大切にして、友達の意見を正しく理解し公平に判断して受け入れられるようにする。また、聞き合いパターンのゆっくりパターンを用いて話し合い活動を進めることにより、教師の支援を丁寧に取り入れながら話し合いの流れを身に付けてよりよい聞き合い・分かり合う話し合い活動ができるようにする。
- ② 聞き合いタイムの後にしんかタイムを取り、「しんかのもと」を手がかりとして自分の意見を改めて見直すことにより、自分の意見をめあてにより近づいたものへと深めることができるようにする。その際、黙って一人で考えるようにし、思考を働かせながら聞き合いを整理できるようにする。
- ③ 分かり合いタイムでは「うさぎの耳」「しんかのもと」「話す型」を用い、目的を持って聞き合いを受けて話したり、お互いの意見のよさを生かしながらみんなの意見をしばっていこうとしたりすることで合意形成できるようにする。

4 指導計画

【 第1学年及び2学年の評価規準 】

	集団活動や生活への 関心・意欲・態度	集団の一員としての 思考・判断・実践	集団活動や生活についての 知識・理解
学級活動(1) の評価規準	学級の身の回りの問題に関心を持ち、他の児童と協力して進んで集団活動に取り組もうとしている。	学級生活を楽しくするために話し合い、自己の役割や集団としてのよりよい方法などについて考え、判断し、仲よく助け合って実践している。	みんなで学級生活を楽しくすることの大切さや、学級集団としての意見をまとめる話し合い活動の基本的な進め方などについて理解している。
聞くこと	相手の方を見て姿勢よく聞こうとしている。	どうしてそう思うのか興味を持ちながら聞こうとしている。	大事なことを落とさないように最後まで聞こうとしている。
話すこと	姿勢よく丁寧な言葉と普通の言葉との違いに気を付けて話そうとしている。	話す事柄を順序立てて、理由を付けながら話そうとしている。	声の大きさや速さなどに注意してはっきりとした声で話そうとしている。
分かり合うこと	学級生活を楽しくするために、友達の意見を聞いたり、自分の意見を発表したりして、話し合いを進めようとしている。		
折り合いを付けること	自分の意見を主張するだけでなく、友達を気遣い仲良く助け合いながら意見をまとめていこうとしている。		

時間	主な内容	伸ばしたい資質・能力		主な学習活動
		思考・判断・実践	知識・理解	
事前の活動	問題の発見 議題の選定 問題の意識化	・議題について自分の考えを持ち話し合いの順序など簡単な計画について考え、準備している。	・話し合い活動の準備の仕方や基本的な進め方を理解している。	・教師と児童が相談して、学校生活の向上につながるための話し合いにふさわしい議題を決定する。 ・「うさぎの耳」「しんかタイム」等、話し合い大作戦！の内容について理解する。 ・めあてをもとに意見を話し合いカードに書いておく。
本時の活動	出し合う 比べ合う まとめる	・よりよい学級の生活づくりに向けて考え、判断し、話し合える。 ・どうしてそう思うのか興味を持ちながら聞こうとすることができる。 ・話す事柄を順序立てて、理由を付けながら話そうとすることができる。	・司会や記録の仕方の役割や基本的な話し合い活動の進め方を理解できる。 ・大事なことを落とさないように最後まで聞くことができる。 ・声の大きさや速さなどに注意してはっきりとした声で話そうとしている。	・議題・めあて・話し合うことを確認する。 ・お互いがそう考えた理由を聞き合い、友達の意見を受け入れる。 ・しんかタイムで、自分の意見を集団の一員としての意見へと深める。 ・全体で、しんかさせた意見どうしを比べて、集団決定に向けて練り合い、いいところを生かしながら合意形成する。
事後の活動	実践	・決定したことや役割を考え、仲よく実践することができる。	・決定したことについて、実践することの大切さや方法について理解している。	・みんなで決めた目標に向かって仲よく実践することができるように、目標を大きく書いて教室に掲示しいつも目にして意識できるようにする。 ・話し合いで決まったことを主体的に実行することができたか発表し合う。

5 本時の展開

(1) ねらい 初めての運動会に参加するにあたり、自分たちが頑張ることについて一年生の目標をつくり守れるようにする。

(2) 準備 教師：議題・めあて・話し合うことの掲示用カード、
児童：話し合い大作戦！カード(話し合いカード)

(3) 展開

学習活動 予想される児童の反応	時間 (分)	指導上の留意点及び支援・評価 (◎努力を要する児童への支援 ◇評価 ☆研究との関わり)
1・提案理由、めあて、話し合うことを確認する。	3	☆会を通して聞く視点「うさぎの耳」で聞くことを意識できるように声がけをする。

		<ul style="list-style-type: none"> ・ どうしてこの議題について話し合うのかを確認し、話し合いへの意欲を高めるようにする。
2 話し合い 話し合うこと		<ul style="list-style-type: none"> ・ 一人一人がめあてを理解できるように、めあてをみんなで声に出して読んだり、教師が説明したりする。
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;"> <p> ぎだい はじめてのうんどうかいをみんなでせいこうさせよう めあて うんどうかいをせいこうさせるためにはどうしたら よいかかんがえよう はなしあうこと 1ねんせいのもくひょうをかかんがえよう </p> </div>		
<p>① 聞き合いタイム</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 誰がどんな意見を持ち、どうしてそう思ったのかを聞き合い、様々な意見を受け入れる。 	10	<ul style="list-style-type: none"> ☆「うさぎの耳」で聞き、友達の意見を正しく理解し公平に判断して受け入れられるようにする。 ☆「聞き合いパターン」のゆっくりパターンを用いることにより、教師の支援を丁寧に取り入れ話し合いの流れを身に付けながら聞き合い・分かり合う話し合い活動ができるようにする。
<p>② しんかタイム</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ これまでの聞き合いを振り返り自分の意見を見直して、個から集団への意見へ深める。 	3	<ul style="list-style-type: none"> ☆「しんかのもと」を手がかりとし、めあてに向かって自分の意見を整理することで、自分の意見を改めて見直し集団の一員としての意見へと深めていけるようにする。
<p>③ 分かり合いタイム</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 全員の意見を比べ合い、練り合っ、お互いの意見のよさを生かしながら合意点を見いだす。 	25	<ul style="list-style-type: none"> ☆「うさぎの耳」「しんかのもと」「話す型」を用い、目的を持って聞き、それを受けて話すことで、みんなの意見のよさを生かしながら、集団としての意見をまとめていくことができるようにする。 ☆めあてである「運動会を成功させるためにはどうしたらよいか考えよう」を意識付けてから分かり合いタイムに入れるようにする。 ・ 公平に判断し折り合いが付けられるよう支援する。十分に分かり合っている場合には、多数決を取るのもよいことを理解させる。 ・ 児童の発表に対しては頷きながら聞き、良い態度に対しては賞賛し、自信を持たせたり真似しようとしたりできるようにする。 ◎カードに書かれていることをもとに、自信を持って自分の意見を発表できるよう言葉がけする。 ◇思考・判断・実践 どうしてそう思うのか公平に判断し、みんなの意見のよさを生かしながらまとめようと話し合っている。(観察・話し合いカード)
3 振り返り	4	<ul style="list-style-type: none"> ・ それぞれの頑張りを認め、賞賛して、次回の学級会への意欲を持てるようにする。

しゅうだんのために めあてによりちかづいた いけんにしよう	
はなしあうこと	だいーかい はなしあいだいさくせん！
りれいをがんばる	ぎだい はじめてのうんどうかいをみんなでがんばろう
かけっこで一ばんになる	めあて うんどうかいをせいこうさせるためには
れんしゅうをいっしょうけんめいやる	どうしたらよいかかんがえよう
まけてもなかない	
みんなでがんばる	
きょうりよくしてやる	
ダンスをうまくおどる	

学級活動指導案（3年）

平成26年9月30日(火曜日) 第3校時 3年教室

1 議題 「楽しいバス旅行にしよう」

内容(1)学級や学校の生活づくり ウ 学校における多様な集団の生活の向上

2 考察

(1) 題材観

本題材は、学級活動の内容「(1)学級や学校の生活づくり ウ 学校における多様な集団の生活の向上」に関わるものである。

児童はこれまでに、「雨の日の過ごし方」や「運動会に向けて気持ちを高めよう」などの議題で話し合い活動の経験を積んできた。全体的には意見を出しやすい雰囲気、話し合い活動の際にはたくさんの意見が飛び交う。しかし、集団決定の際は意見がまとまりづらく、リーダー的な存在の児童の意見が通ってしまったり、誰かが我慢することでその場が収まったりということもある。

「運動会に向けて気持ちを高めよう」を議題としたときのめあては「朝の会でみんなで歌って運動会の練習にヤル気を持って取り組めるようにしよう」で、「3年1組の歌を決める」ための話し合いをした。どんな歌を歌えば気持ちが高まるか、児童はよく考え、思い思いの意見を自由に出し合うことができた。しかし、自分の意見を言ったらおしまいとか、どうしても自分の歌いたい歌を通したい児童もあり、意見がまとまるかどうか心配になる様子もみられた。そんな時「曜日毎に歌う歌を決めて5曲歌うことにすれば、みんなが歌いたい曲を選ぶことができるのでいいと思います」という意見を出した児童がおり、それに賛同する声が多くあがった。このように「みんながいいように」と、集団の一員としての意見をまとめようとする児童の思いを学級全体に広めることは大変意義がある。

そこで、児童が楽しみにしているバス旅行に向けて、みんなが楽しく旅行に行ってもらえるための話し合いをし、みんなで決めたことをみんなでやってよかった、という経験を積ませることは、集団の一員として生活することのよさや大切さを実感できると考えられる。また、友達の話の話を正しく聞き公平に判断して集団決定することで、少数の意見のよさも認めることができ、一人一人が認められて学級への所属感も高まると考え、本題材を設定した。

(2) 児童の実態及び指導方針（男子8名 女子10名 計18名）

本校は、平成24年度に町の小学校4校が統合し誕生した。全校児童127人の小規模校であり、3年生は2学級で、毎年クラス替えをしている。

3年生になってから話し合いの経験は数回あり、これまでは、教師が司会や書記の役割や話し合いの進め方を児童に示しながら行ってきた。前回の話し合い活動をするころから「先生、司会をやってみたいな」という声や「話し合いするの、楽しみだなあ」という児童の声が聞かれるようになってきた。楽しみなのはなぜか聞いてみると「みんなが色々な意見を出して、そこから決めていくのが楽しいから」と、様々な意見のよさを生かそうとしている児童もいることが分かった。一方、自分の思いが強く、人の意見を受け入れづらかったり、自分の意見が通らないと嫌になってしまう児童もあり、集団決定は教師が支援しながら行ったり、十分分かり合えないうちに多数決に頼ってしまったりすることも少なくない。

そこで、指導方針として、「人の意見を聞いて、それを受けて話す」ことや「人の意見を聞いて比べ合い、自分の意見を深める」ことを大切に、自分の意見を言いつばなしにするのを防ぎたい。話し合い活動を通して「聞く」ことを意識しながら、友達のことを正しく聞き、公平に判断して、お互いの意見のよいところを生かしながら意見をまとめていこうとする意識を高めたい。

3 研究との関わり

「集団としての意見をまとめていこうとする児童の育成」
 ～「話し合い大作戦！」を取り入れた学級活動(1)の指導の工夫を通して～

研究仮説

① 聞き合いタイム

「話し合い大作戦！」の出し合う過程において、聞く視点と学級の実態に合った聞き合いパターンを用いる「聞き合いタイム」を設定することによって、友達の意見を正しく理解し公平に判断して、様々な意見を受け入れることができるであろう。

② しんかタイム

「話し合い大作戦！」で、意見を聞き合った後に比べ合いの視点を手がかりとし、めあてに向かって自分の意見を見直す「しんかタイム」を設定することによって、自分の意見を集団としての意見へと深めていくことができるであろう。

③ 分かり合いタイム

「話し合い大作戦！」の比べ合う過程において、視点を与えた「分かり合いタイム」を設定することによって、みんなの意見のよさを生かしながら合意点を見いだすことができるであろう。

本時における具体的な手立て

- ① 聞き合いタイムでは、聞く視点である「うさぎの耳」を意識し聞くことを大切にして、友達の意見を正しく理解し公平に判断して受け入れられるようにする。また、聞き合いパターンのゆっくりパターンを用いて話し合い活動を進めることにより、教師の支援を丁寧に入れながら計画委員の役割や話し合いの流れを身に付けてよりよい聞き合い・分かり合う話し合い活動ができるようにする。
- ② 聞き合いタイムの後にしんかタイムを取り、「しんかのもと」を手がかりとして自分の意見を改めて見直すことにより、自分の意見をめあてにより近づいたものへと深めることができるようにする。その際、黙って一人で考えるようにし、思考を働かせながら聞き合いを整理できるようにする。
- ③ 分かり合いタイムでは「うさぎの耳」「しんかのもと」「話す型」を用い、目的を持って聞きそれを受けて話したり、お互いの意見のよさを生かしながらみんなの意見をしばっていこうとしたりすることで合意形成できるようにする。

4 指導計画

【 第3学年及び4学年の評価規準 】

	集団活動や生活への 関心・意欲・態度	集団の一員としての 思考・判断・実践	集団活動や生活についての 知識・理解
学級活動(1) の評価規準	学級の生活上の問題に関心をもち、他の児童と協力して意欲的に集団活動に取り組もうとしている。	楽しい学級生活をつくるために話し合い、自己の役割や集団としてのよりよい方法などについて考え、判断し、協力し合って実践している。	みんなで楽しい学級生活をつくることの大切さや、学級集団としての意見をまとめる話し合い活動の計画的な進め方などについて理解している。
聞くこと	相手の方を見て話を受け止めながら聞いている。	公平に判断しながら、どうしてそう思ったのか相手のことを考えながら聞いている。	大事なことは何か話の中心に気を付けながら最後まで聞いている。
話すこと	相手の方を見ながら丁寧な言葉を用いて分かりやすく話そうとしている。	相手の意見を受け、理由を明確にししながら、筋道を立てて話そうとしている。	抑揚や強弱、間の取り方などに注意しながら話すことができる。

分かり合うこと	楽しい学級生活をつくるために、自分の考えと比べながら友達の発表を聞いたり、理由を明確にして自分の意見を言ったりして、協力し合って話し合いを進めることができるようにする。
折り合いをつけること	お互いの意見のよさを取り入れながら、集団としての意見をまとめていこうとすることができる。

時間	主な内容	伸ばしたい資質・能力		主な学習活動
		思考・判断・実践	知識・理解	
事前の活動	問題の発見 議題の選定 問題の意識化	<ul style="list-style-type: none"> 議題について自分の考えを持ち、計画委員の運営や話し合いの活動計画について考え、準備している。 	<ul style="list-style-type: none"> 計画委員の役割や話し合い活動の準備の仕方など、計画的な進め方を理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> 教師と計画委員が相談して、学校生活の向上につながるための話し合いにふさわしい議題を決定する。 「うさぎの耳」「しんかタイム」等、話し合い大作戦！の内容について理解する。
本時の活動	出し合う 比べ合う まとめる	<ul style="list-style-type: none"> よりよい学級の生活づくりに向けて考え、判断し、まとめようと話し合える。 公平に判断しながらどうしてそう思ったのか相手のことを考えながら聞いている。 相手の意見を受け、理由を明確にしながら、筋道を立てて話そうとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 計画委員の仕事の内容や計画的な話し合いの進め方を理解している。 大事なことは何か話の中心に気を付けながら最後まで聞くことができる。 抑揚や強弱、間の取り方などに注意しながら話すことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 議題・めあて・話し合うことを確認する。 お互いがそう考えた理由を聞き合い、友達の意見を受け入れる。 しんかタイムで、自分の意見を集団の一員としての意見へと深める。 全体で、しんかさせた意見どうしを比べて、集団決定に向けて練り合い、いいところを生かしながら合意形成する。
事後の活動	実践	<ul style="list-style-type: none"> 決定したことや自他の役割を考え、協力し合って実践することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 決定したことについて、みんなで計画的に実践することの必要性や方法について理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> 決定したことについて、自分たちで決めたという思いをもってバスレクができるようにする。 みんなで決めたことを行い、よかったという思いを持てるよう支援する。

【事前の計画委員会の活動】

日時	児童の活動	指導上の留意点	目指す児童像と評価方法
9月22日 (月)	<ul style="list-style-type: none"> 計画委員会を組織し、役割分担をする。(昼休み) 	<ul style="list-style-type: none"> 学級の中からあがってきた児童の声を参考にして計画委員と共に議題を決定し、めあてや議題設定の理由をまとめられるようにする。 計画委員の役割について説明し、分担できるようにする。 	【知識・理解】 <ul style="list-style-type: none"> 計画委員会の役割や話し合い活動の準備の仕方など、進め方を理解している。 (観察)
9月24日 (水)	<ul style="list-style-type: none"> 議題やめあてを計画委員が全体に説明し、学級活動コーナ 	<ul style="list-style-type: none"> 児童が言い足りないところは補足し、話し合いの意義が児童に伝わるように 	

	一に掲示する。(帰りの会)	する。
9月25日 (木)	<ul style="list-style-type: none"> ・話し合いカードを配布して自分の意見を書いてもらう。(朝の会) ・話し合いカードを回収し(帰りの会)、それを参考にしながら教師と共に話し合いの展開を予測し、進行表を作る。(放課後) 	<ul style="list-style-type: none"> ・計画委員の役割について、できることは児童に任せ、徐々に身に付けられるようにする。 ・回収した話し合いカードから、話し合いの展開を予測し、進め方についてアドバイスしながら進行表を共に作る。
9月26日 (金)	<ul style="list-style-type: none"> ・話し合いの進め方を確認する。(休み時間) 	<ul style="list-style-type: none"> ・集団決定の前に「集団のためによりめあてに近づいた意見にする」ことを、全体に改めて意識付けできるように打ち合わせしておく。

5 本時の展開

- (1) **ねらい** みんなで力を合わせて楽しいバス旅行にするために、バスの中で行うレクリエーションを決めることができる。
- (2) **準備** 教師：議題・めあて・話し合うことの掲示用カード、
児童：話し合い大作戦！カード(話し合いカード)
- (3) **展開**

学習活動 予想される児童の反応	時間 (分)	指導上の留意点及び支援・評価 (◎努力を要する児童への支援 ◇評価 ☆研究との関わり)
1・議題、提案理由、めあて、話し合うことを確認する。	5	<ul style="list-style-type: none"> ・司会の声の大きさや話し方が不適切であった場合には助言する。
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;"> <p>議題 楽しいバス旅行にしよう。 めあて みんなが楽しくバスに乗れるようなレクリエーションをしよう 話し合うこと バスの中でのレクリエーションを決めよう</p> </div>		
2 話し合い		☆会を通して聞く視点「うさぎの耳」で聞くことを意識できるように声がけをする。
① 聞き合いタイム <ul style="list-style-type: none"> ・誰がどんな意見を持ち、どうしてそう思ったのかを聞き合い、様々な意見を受け入れる。 	1 2	<ul style="list-style-type: none"> ☆「うさぎの耳」で聞き、友達の見解を正しく理解し公平に判断して受け入れられるようにする。 ☆「聞き合いパターン」のゆっくりパターンを用いることにより、教師の支援を丁寧に取り入れ、計画委員の役割や話し合いの流れを身に付けながら聞き合い・分かり合う話し合い活動ができるようにする。
② しんかタイム <ul style="list-style-type: none"> ・これまでの聞き合いを振り返り自分の意見を見直して、個から集団への意見へ深める。 	3	<ul style="list-style-type: none"> ☆「しんかのもと」を手がかりとし、めあてに向かって自分の意見を整理することで、自分の意見を改めて見直し集団の一員としての意見へと深めていけるようにする。
③ 分かり合いタイム <ul style="list-style-type: none"> ・全員の意見を比べ合い、練り合っ、お互いの意見のよさを生かしながら 	2 0	<ul style="list-style-type: none"> ☆「うさぎの耳」「しんかのもと」「話す型」を用い、目的を持って聞き、それを受けて話すことで、みんなの意見のよさを生かしながら、

<p>合意点を見いだす。</p>	<p>集団としての意見をまとめていくことができるようにする。</p> <p>☆めあてである「みんなが楽しくバスに乗れるようなレクリエーションをしよう」を意識付けてから分かり合いタイムに入れるようにする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公平に判断し折り合いが付けられるよう支援する。十分に分かり合えている場合には、多数決を取るのもよいことを理解させる。 ・児童の発表に対しては頷きながら聞き、良い態度に対しては賞賛し、自信を持たせたり真似しようとしたりできるようにする。 <p>◎カードに書かれていることをもとに、自信を持って自分の意見を発表できるよう言葉がけする。</p> <p>◇思考・判断・実践</p> <p>どうしてそう思うのか相手のことを考えて公平に判断し、みんなの意見のよさを生かしながらまとめようと話し合っている。(観察・話し合いカード)</p>
<p>3 振り返り</p>	<p>5</p> <ul style="list-style-type: none"> ・それぞれの頑張りを認め、賞賛して、次時の活動への意欲を持てるようにする。

6 板書計画

集団のために めあてにより近づいた 意見にしよう

おもしろい話

メチャギントン

歌を歌う

名前ならびかえクイズ

クイズ

こわい話

ビンゴ

●
上

●
下

- ・好きな人が多い。
- ・みんながやったことがある。
- ・道具の準備が大変。

話し合うこと

めあて

みんなが楽しくバスに乗れるようなレクリエーションをしよう

バスの中でのレクリエーションを決めよう

議題

第三回 話し合い大作戦!

楽しいバス旅行にしよう

学級活動指導案（5年）

平成26年11月11日(火曜日) 第2校時 5年教室

1 議題 「 スポーツ大会をしよう 」

内容(1)学級や学校の生活づくり ウ 学校における多様な集団の生活の向上

2 考察

(1) 題材観

本題材は、学級活動の内容「(1)学級や学校の生活づくり ウ 学校における多様な集団の生活の向上」に関わるものである。

発達段階から、男女の遊びにも変化が見られるようになってきており、休み時間の遊びも男女分かれて、ということが多い。だが、体育の時間に全員でドッジボールをする際には、自然と男子の間には「女子にボールを当てるときにちょっと加減しよう」などの声が聞かれる。「雨の日の遊び方を考えよう」という議題で話し合いをした際には、遊ぶときのグループ編成の仕方について、「いつも同じ人ばかりで遊ぶのではなく、いろいろな人と遊べるように」や「男女で一緒に遊べるように」などの意見を出した者もいた。集団の一員としての自覚が少なめである児童でも、男女で活動する場面ではお互いを思いやり、みんなで活動することのよさを感じている部分もあると思われる。

また、運動会では「高学年として6年生と一緒に運動会を成功させよう」という議題で話し合ったことを皆が実行し下級生をリードしながら頑張ったり、陸上記録会では学校の代表として上を目指そうという目標に向かっていったりと、みんなで頑張ることのよさを味わうことができた。その流れを受け、今度は学級で「スポーツ大会をしよう」という声が挙がった。この議題を取り上げ、自分も友達も活躍できる種目を考えてみんなでその楽しさを体験し、みんなでやってよかった、楽しかったという経験を多く重ねることで、お互いのよさや新たな一面を発見し、学級の団結力も向上していくと考えられる。そして、一人一人が学級の一員としてより愛着を深め、学校生活の充実を図れるようにと考え、本題材を設定した。

(2) 児童の実態及び指導方針（男子16名 女子15名 計31名）

本校は、平成24年度に町の小学校4校が統合し誕生した。全校児童127人の小規模校であり、本学級は当初から単学級でこれまでを過ごしてきた。

話し合い活動については、自分の考えを進んで挙手・発言する児童は限られている。また、自分の意見は発表できても人の話を最後まで聞けなかったり、あらかじめ話し合いカードに書いてきたこと以外は自信が持てずに言えなかったりする者が多い。意見は持てても自信が持てず発表をためらったりしている様子も見られ、改善の必要を感じる。日頃から、人の話をよく聞くことを促し、意見の言いやすい雰囲気づくりに努めている。一方、一部の児童は、友達の見解を聞いて自分の考えを見直したり、いくつかの意見をまとめたりすることができるようになってきた。話し合いカードの記述から、建設的な意見を出し合う集団決定のよさに気付き始めている様子も見られる。

司会グループは輪番制で、これまでの経験から、各役割の仕事は概ね理解している。司会が話し合いを進めるおおよその手順も理解し始めている。しかし、たくさんの意見をまとめていくことや、話し合うことから意見が逸れてしまった際の軌道修正の仕方、話し合いが停滞したときの進め方等、教師の支援を必要とする場面も多く見られる。

そこで、指導方針として、「人の意見を聞いて、それを受けて話す」ことや「人の意見を聞いて、自分の考えを深める」「人の意見を聞いて、比べ合い、よりよい意見へと集団決定していく」など、話し合いを通して「聞く」ことを特に大切にしながら、聞き合い・分かり合おうとすることができるようにする。

3 研究との関わり

「集団としての意見をまとめていこうとする児童の育成」
 ～「話し合い大作戦！」を取り入れた学級活動(1)の指導の工夫を通して～

研究仮説

① 聞き合いタイム

「話し合い大作戦！」の出し合う過程において、聞く視点と学級の実態に合った聞き合いパターンを用いる「聞き合いタイム」を設定することによって、友達の意見を正しく理解し公平に判断して、様々な意見を受け入れることができるであろう。

② しんかタイム

「話し合い大作戦！」で、意見を聞き合った後に比べ合いの視点を手がかりとし、めあてに向かって自分の意見を見直す「しんかタイム」を設定することによって、自分の意見を集団としての意見へと深めていくことができるであろう。

③ 分かり合いタイム

「話し合い大作戦！」の比べ合う過程において、視点を与えた「分かり合いタイム」を設定することによって、みんなの意見のよさを生かしながら合意点を見いだすことができるであろう。

本時における具体的な手立て

- ① 聞き合いタイムでは、聞く視点である「うさぎの耳」を意識し聞くことを大切にして、友達の意見を正しく理解し公平に判断して受け入れられるようにする。また、聞き合いパターンのグループ入りパターンを用いて話し合いを進めることにより、意見を話しやすく分かり合いをしやすい雰囲気をつくるために、初めにグループ(少人数)活動を取り入れ、よりよい聞き合い・分かり合う話し合い活動ができるようにする。
- ② 聞き合いタイムの後にしんかタイムを取り、「しんかのもと」を手がかりとして自分の意見を改めて見直すことにより、自分の意見をめあてにより近づいたものへと深めることができるようにする。その際、黙って一人で考えるようにし、思考を働かせながら聞き合いを整理できるようにする。
- ③ 分かり合いタイムでは「うさぎの耳」「しんかのもと」「話す型」を用い、目的を持って聞き合いを受けて話したり、お互いの意見のよさを生かしながらみんなの意見をしばっていこうとしたりすることで合意形成できるようにする。

4 指導計画

【第5学年及び6学年の評価規準】

	集団活動や生活への 関心・意欲・態度	集団の一員としての 思考・判断・実践	集団活動や生活についての 知識・理解
学級活動(1) の評価規準	学級や学校の生活の充実と向上に関わる問題に関心をもち他の児童と協力して自主的に集団活動に取り組もうとしている。	楽しく豊かな学級や学校の生活をつくるために話し合い、自己の役割や責任、集団としてのよりよい方法などについて考え、判断し、信頼し支え合って実践している。	みんなで楽しく豊かな学級や学校の生活をつくることの意義や、学級集団としての意見をまとめる話し合い活動の効率的な進め方などについて理解している。
聞くこと	自分と異なる意見にも耳を傾けようとしている。	公平に判断し多様な意見のよさを生かしながら聞こうとしている。	相手の意見を正しく最後まで聞こうとしている。
話すこと	話したいことが明確に伝わるように意見の発表方法を	建設的な意見を持ち、理由を明確にして順序立てて話そう	相手の意見を聞き、それをもとに自分の言葉で話そうとし

	工夫して話そうとしている。	としている。	ている。
分かり合うこと	多様な意見のよさを積極的に生かし、信頼し支え合って話合い活動を進め、楽しく豊かな学級や学校生活をつくるためによりよい集団決定をしようとしている。		
折り合いを付けること	自分の意見を変容させたり、他の意見に譲歩したりして集団としての意見をまとめていこうとしている。		

時間	主な内容	伸ばしたい資質・能力		主な学習活動
		思考・判断・実践	知識・理解	
事前の活動	問題の発見 議題の選定 問題の意識化	<ul style="list-style-type: none"> 議題について自分の考えを持つことができる。 効率的な計画委員会の運営や話合いの活動計画について考え、準備できる。 	<ul style="list-style-type: none"> 話合い活動の進め方を理解できる。 計画委員会の役割や話合い活動の準備の仕方などの進め方を理解できる。 	<ul style="list-style-type: none"> 計画委員会が学級の中から多く聞かれた声をもとにして、学校生活の向上につながるための話合いにふさわしい議題を決定する。 めあてを確認し合い、どんなことに気を付けながら種目を決定すればよいか、団体種目か個人種目かそれぞれいくつくらい決めるかなどを朝や帰りの会などに話し合う。 話合いの進め方等について確認する。 意見を話合いカードに書いておく。
本時の活動	出し合う 比べ合う まとめる	<ul style="list-style-type: none"> よりよい学級の生活づくりに向けて考え、判断し、話し合える。 公平に判断し多様な意見のよさを生かしながら聞こうとしている。 建設的な意見を持ち、理由を明確にして順序立てて話そうとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 司会や記録の仕方の役割や基本的な話合い活動の進め方を理解できる。 相手の意見を正しく最後まで聞こうとすることができる。 相手の意見を聞き、それをもとに自分の言葉で話そうとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 議題・めあて・話し合うこと・決まっていることを確認する。 計画委員会が準備した短冊を見て、どんな意見が出されているのかを知る。 まず少人数のグループで、お互いの意見やそう考えた理由を聞き合う。 次に全体で聞き合いそれぞれがどんな思いを持っているのかを分かり合う。 十分に聞き合い・分かり合う時間を取ったら、しんかタイムで、自分の意見を集団の一員としての意見へと深める。 折り合いを付けて集団決定する。
事後の活動	実践	<ul style="list-style-type: none"> 自他の役割、創意工夫などについて考え、信頼し支え合って実践している。 	<ul style="list-style-type: none"> 決定したことについて、みんなですら効率的に実践することの意義や方法について理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> みんなが楽しく、効率的に行えるよう、担当ごとに細かいルールや必要なことを決めて全体に知らせる。 みんなですら決めた種目を仲良く行う。 話合いで決まったことを主体的に実行することができたか発表し合う。

【事前の計画委員会の活動】

日時	児童の活動	指導上の留意点	目指す児童像と評価方法
10月24日 (金)	<ul style="list-style-type: none"> 計画委員会を組織する。 話合いの活動計画を立てる。 	<ul style="list-style-type: none"> 学級の中から挙げてきた児童の声を参考にして議題を決定し、めあて 	【知識・理解】 <ul style="list-style-type: none"> 話合い活動の進

	<ul style="list-style-type: none"> ・役割分担をする。(昼休み) ・アンケートの作成。(休み時間) 	<ul style="list-style-type: none"> や議題設定の理由をまとめられるようにする。 ・あらかじめ得意な種目のアンケートを取っておき、「みんなが活躍できる」というめあてに沿って考えるための手助けとなるようにする。 	め方について理解している。 ・話し合いの際に、計画委員としての役割や気を付けなければいけないことについて、記述している。(計画委員の活動計画)
10月30日 (木)	<ul style="list-style-type: none"> ・計画委員会の紹介。 ・議題や話し合い活動の進め方等を説明し、学級活動コーナーに掲示する。アンケートの説明と配布。(帰りの会) 	<ul style="list-style-type: none"> ・何のためのアンケートか、意義が伝わるよう説明できるようにしておく。 ・話し合いの進め方についての補足や、その他注意事項については、事前に教師が指導する時間を取り、徹底できるようにする。 	
11月4日 (火)	<ul style="list-style-type: none"> ・アンケートの回収と集計。(朝の会・休み時間) 	<ul style="list-style-type: none"> ・全体に提示できるように、アンケート結果をまとめられるようにする。 	
11月6日 (木)	<ul style="list-style-type: none"> ・アンケート結果を提示しながら、どんなことに気を付けながら種目を決定すればよいか、団体種目か個人種目かそれぞれいくつくらい決めるか等を全体で話し合っておく。(朝・帰りの会) ・話し合いカードを配布して自分の意見を書いてもらう。(朝・帰りの会) ・進行表、板書計画の作成。(放課後) 	<ul style="list-style-type: none"> ・アンケートをもとに、めあてに合った意見を考えられるよう全体に説明できるように、打ち合わせておく。 ・ここで決まったことを、学級活動コーナーに掲示できるようにする。 	
11月7日 (金)	<ul style="list-style-type: none"> ・話し合いカードを回収し、意見を分類して短冊に書いておく。(休み時間) ・話し合いの進め方を確認する。(休み時間) 	<ul style="list-style-type: none"> ・掲示用に大きく書き話し合い前に黒板に貼っておくよう打ち合わせておく。 ・集団決定の前に「集団のためによりめあてに近づいた意見にする」ことを、全体に改めて意識付けできるよう打ち合わせておく。 	

5 本時の展開

- (1) ねらい みんなが活躍できるような「スポーツ大会」をしよう。
- (2) 準備 教師：司会団の席次札、議題・めあて・話し合うことの掲示用カード
 児童：話し合い大作戦！カード(話し合いカード)
 計画委員：進行表(全員)、座席表(指名係)、板書計画(黒板記録)、
 学級会ノート(ノート記録)、「得意な種目アンケート」の結果、
 みんなの意見を書いた短冊

(3) 展開

学習活動 予想される児童の反応	時間 (分)	指導上の留意点及び支援・評価 (◎努力を要する児童への支援 ◇評価 ☆研究との関わり)
【開始前】短冊を見てみんなの意見を知る。		・あらかじめ計画委員会が準備した短冊を利用し「出し合う」時間を省略し、「分かり合い」

<p>合意点を見いだす。</p>	<p>集団としての意見をまとめていくことができるようにする。</p> <p>☆めあてである「みんなが活躍できるスポーツ大会をしよう」を意識付けてから分かり合いタイムに入れるよう、計画委員と打ち合わせしておく。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公平に判断し折り合いが付けられるよう支援する。十分に分かり合えている場合には、多数決を取るのもよいことを理解させる。 ・児童の発表に対しては頷きながら聞き、良い態度に対しては賞賛し、自信を持たせたり真似しようとしたりできるようにする。 ・めあてである「みんなが活躍できそうな」というところが大事であることを司会者とよく確認しておく、話が逸れてしまった場合には、修正できるよう促す。 <p>◎カードに書かれていることをもとに、自信を持って自分の意見を発表できるよう言葉がけする。</p> <p>◇思考・判断・実践</p> <p>公平に判断し、集団の一員として多様な意見のよさを生かしながらまとめようと話し合っている。(観察・話し合いカード)</p>
<p>3 振り返り</p>	<p>4</p> <ul style="list-style-type: none"> ・司会グループの頑張りを認め合う場をつくる。 ・それぞれの頑張りを認め、賞賛して、次回の学級会への意欲を持てるようにする。

(4) 板書計画

集団のために めあてにより近づいた 意見にしよう

つな引き

リレー

なわとび

けり野球

サッカー

話し合うこと

みんなが活やくできるスポーツを決めよう。

- ・休み時間、している人が多い
- ・好きな人が多い。
- ・みんながルールを知っている。

上

- ・強い人ばかり活やくしてしまう。
- ・ケンカになる。

下

決まっていること

- ・十一月二十日(木)五・六校時に行う。
- ・校庭または体育館で行う。
- ・個人種目を一つ
- ・団体種目を二つ決める。
- ・種目が決まったら、それぞれの担当を決めて準備する。

議題

めあて

スポーツ大会をしよう。

みんなが活やくできるようなスポーツ大会をしよう。

第六回 話し合い大作戦!

アンケート結果

得意な種目	人数
・ドッジボール	8人
・サッカー	7人
・けり野球	5人
・なわとび	9人
・リレー	2人
・つな引き	1人

学級活動指導案（6年）

平成26年11月11日(火曜日) 第4校時 6年教室

1 議題 「音楽集会を企画しよう」

内容(1)学級や学校の生活づくり ウ 学校における多様な集団の生活の向上

2 考察

(1) 題材観

本題材は、学級活動の内容「(1)学級や学校の生活づくり ウ 学校における多様な集団の生活の向上」に関わるものである。

児童は、4月から本校の最上級生として様々な場面で下級生をリードしよう、学校をつくっていかうという姿が見られ、先に行われた運動会での団長や応援団長として活躍した姿や、日頃委員会や縦割り活動等で中心となる姿には堂々としたものがある。一つ一つ仕事をやり遂げる毎に、児童は自信を持ち、次への目標に向かっていかうという意欲を増しているように見える。

活躍する児童がいる一方、中には学校のリーダーとしての立場を理解しづらい児童や、具体的にどんな行動をとったらよいのか考えることが困難である児童も少なくない。また、十分な力を備えている児童でも、周りの目を気にしたり、自信を持たず前に踏み出すことができなかつたりするように見える。しかしこのような児童でも運動会後の感想には「ソーラン節を5年生に教えて、一緒に頑張れて嬉しかった」とか「鼓笛隊の動きを、自分が早く覚えて5年生をリードできた」等の記述があった。自分の役割を十分に理解させ、前もってどんな風に行動すべきかを支援することで、仕事をやり遂げることができ、達成感を感じられることも多いと思われる。

このように運動会で自分たちが頑張り成功を収め、陸上記録会や修学旅行といった大きな行事を終えた今、6年生には「自分たちにはもっと何かができる」「全校の中心となって頑張りたい」という思いが強くなっている。また、最近、昨年度開催された下仁田町小中合同音楽会を振り返る機会があった。5年生だった自分たちが6年生に合唱や合奏のお手本を聴かせてもらい、そのおかげで自分たちも表現を工夫したいという思いを持ったことを思い出し「去年の今頃、音楽会の練習頑張ったよね」「去年の6年生と歌ってハモったのが素敵だったね」という声、そして「自分たちもみんなの中心になって頑張りたい」という声が挙がるようになった。そこで、音楽集会を企画してはどうかという意見が出た。児童の中から挙がった議題ということで、意欲を持って話し合えることが期待される。また、自分たちが企画し一人一人が役割を果たした集会で全校が一つになり、その楽しさを体験することで、自己有用感を持ち、学校生活をより有意義なものにできると考え本題材を設定した。

(2) 児童(生徒)の実態及び指導方針(男子16名 女子16名 計32名)

本校は、平成24年度に町の小学校4校が統合し誕生した。全校児童127人の小規模校であるが、6年生は中でも最も人数の多い学年で、2学級あり、毎年クラス替えを行っている。そのため、話し合い活動については経験の差がややあるが、全体的には考えを自由に話し合えるよい雰囲気があり、建設的な意見を出し合う集団決定のよさに気付き始めている様子も見られる。自分の考えを進んで挙手・発言する児童も多く、初めは自分の意見を持たなくても人の意見を聞いて考えることができる児童もいる。しかし、聞いたことを受けて話すのは苦手であったり、意見は持てても言えなかつたりする児童もいる。人の話をよく聞いているように見えるが、大事なことは何かまとめながら聞くことや、〇〇さんが言ったことだから正しいだろうと公平に判断することには課題を感じる。自分が意見を言わなくても友達が言ってくれるだろうという思いの児童も数名いる。

そこで、指導方針として、「人の意見を聞いて、それを受けて話す」ことや「人の意見を聞いて、自分の考えを深める」「人の意見を聞いて、比べ合い、よりよい意見へと集団決定していく」など、

話し合いを通して「聞く」ことを特に大切にしながら、聞き合い・分かり合おうとすることができるようにする。

3 研究との関わり

「集団としての意見をまとめていこうとする児童の育成」

～「話し合い大作戦！」を取り入れた学級活動(1)の指導の工夫を通して～

研究仮説

① 聞き合いタイム

「話し合い大作戦！」の出し合う過程において、聞く視点と学級の実態に合った聞き合いパターンを用いる「聞き合いタイム」を設定することによって、友達の意見を正しく理解し公平に判断して、様々な意見を受け入れることができるであろう。

② しんかタイム

「話し合い大作戦！」で、意見を聞き合った後に比べ合いの視点を手がかりとし、めあてに向かって自分の意見を見直す「しんかタイム」を設定することによって、自分の意見を集団としての意見へと深めていくことができるであろう。

③ 分かり合いタイム

「話し合い大作戦！」の比べ合う過程において、視点を与えた「分かり合いタイム」を設定することによって、みんなの意見のよさを生かしながら合意点を見いだすことができるであろう。

本時における具体的な手立て

① 聞き合いタイムでは、聞く視点である「うさぎの耳」を意識し聞くことを大切にして、友達の意見を正しく理解し公平に判断して受け入れられるようにする。また、聞き合いパターンの慣れてるパターンを用いて話し合い活動を進め、教師の支援は最小限にして、児童が役割を分担し、計画委員が中心となり話し合いを進めていくことにより、主体的な聞き合い・分かり合う話し合い活動ができるようにする。

② 聞き合いタイムの後にしんかタイムを取り、「しんかのもと」を手がかりとして自分の意見を改めて見直すことにより、自分の意見をめあてにより近づいたものへと深めることができるようにする。その際、黙って一人で考えるようにし、思考を働かせながら聞き合いを整理できるようにする。

③ 分かり合いタイムでは「うさぎの耳」「しんかのもと」「話す型」を用い、目的を持って聞きそれを受けて話したり、お互いの意見のよさを生かしながらみんなの意見をしばっていこうとしたりすることで合意形成できるようにする。

4 指導計画

【 第5学年及び6学年の評価規準 】

	集団活動や生活への 関心・意欲・態度	集団の一員としての 思考・判断・実践	集団活動や生活についての 知識・理解
学級活動(1) の評価規準	学級や学校の生活の充実と向上に関わる問題に関心をもち他の児童と協力して自主的に集団活動に取り組もうとしている。	楽しく豊かな学級や学校の生活をつくるために話し合い、自己の役割や責任、集団としてのよりよい方法などについて考え、判断し、信頼し支え合って実践している。	みんなで楽しく豊かな学級や学校の生活をつくることの意義や、学級集団としての意見をまとめる話し合い活動の効率的な進め方などについて理解している。
聞くこと	自分と異なる意見にも耳を傾けようとしている。	公平に判断し多様な意見のよさを生かしながら聞こうとしている。	大事なことは何か自分の言葉でまとめながら最後まで聞こうとしている。

話すこと	話したいことが明確に伝わるように意見の発表方法を工夫して話そうとしている。	建設的な意見を持ち、理由を明確にして順序立てて話そうとしている。	相手の意見を聞き、それをもとに自分の言葉で話そうとしている。
分かり合うこと	多様な意見のよさを積極的に生かし、信頼し支え合って話し合い活動を進め、楽しく豊かな学級や学校生活をつくるためによりよい集団決定をしようとしている。		
折り合いを付けること	自分の意見を変容させたり、他の意見に譲歩したりして集団としての意見をまとめていこうとしている。		

時間	主な内容	伸ばしたい資質・能力		主な学習活動
		思考・判断・実践	知識・理解	
事前の活動	問題の発見 議題の選定 問題の意識化	<ul style="list-style-type: none"> 議題について自分の考えを持ちまとめておくことができる。 効率的な計画委員会の運営や話し合いの活動計画について考え、自主的に準備できる。 	<ul style="list-style-type: none"> 話し合い活動の進め方を理解できる。 計画委員会の役割や話し合い活動の準備の仕方など、効率的な進め方を理解できる。 	<ul style="list-style-type: none"> 計画委員会が学級の中から多く聞かれた声をもとにして、学校生活の向上につながるための話し合いにふさわしい議題を決定する。 めあてを確認し合い、音楽集会を企画する上で決定しなければいけないことは何か朝や帰りの会などに話し合う。 話し合いの進め方などについて確認する。 意見を話し合いカードに書いておく。
本時の活動	出し合う 比べ合う まとめる	<ul style="list-style-type: none"> よりよい学級の生活づくりに向けて考え、判断し、建設的に話し合える。 公平に判断し、多様な意見のよさを生かしながら聞こうとすることができる。 建設的な意見を持ち、理由を明確にして話そうことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 司会や記録の仕方の役割や効率的な話し合い活動の進め方を理解できる。 相手の意図をとらえ、質問を考えながら最後まで聞こうとすることができる。 相手の意見を受け、自分の言葉で話そうとすることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 議題・めあて・話し合うこと・決まっていることを確認する。 計画委員会が準備した短冊を見て、どんな意見が出されているのかを知る。 お互いがそう考えた理由を聞き合う。 しんかタイムで、自分の意見を集団の一員としての意見へと深める。 全体で、しんかさせた意見どうしを比べて、集団決定に向けて練り合い、集団決定する。
事後の活動	実践	<ul style="list-style-type: none"> 自他の役割、創意工夫などについて自主的に考え、信頼し支え合って実践している。 	<ul style="list-style-type: none"> 決定したことについて、みんなで効率的に実践することの意義や方法について理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> みんな楽しく、効率的に行えるよう、ポスターや放送で企画について全校に知らせる。 楽しく音楽集会を行う。 話し合いで決まったことを主体的に実行することができたか発表し合う。

【事前の計画委員会の活動】

日時	児童の活動	指導上の留意点	目指す児童像と評価方法

10月24日 (金)	<ul style="list-style-type: none"> ・計画委員会を組織する。 ・話し合いの活動計画を立てる。 ・役割分担をする。(昼休み) 	<ul style="list-style-type: none"> ・学級の中から挙げてきた児童の声を参考にして議題を決定し、めあてや議題設定の理由をまとめられるようにする。 	【知識・理解】 <ul style="list-style-type: none"> ・計画委員としての役割や気を付けなければならないことについて理解し、活動計画を作成して話し合いの準備をすることができる。(計画委員の活動計画)
10月30日 (木)	<ul style="list-style-type: none"> ・計画委員会の紹介。 (帰りの会) ・議題等を説明し、学級活動コーナーに掲示する。 (休み時間) 	<ul style="list-style-type: none"> ・音楽集会を企画するにあたり、どんなことを決めておけばよいか話し合っておけるようにする。 ・全員に役割があるような企画を考えられるようにする。 ・ここで決まったことを、学級活動コーナーに掲示できるようにする。 	
10月31日 (金)	<ul style="list-style-type: none"> ・話し合いカードを配布して自分の意見を書いてもらう。 (朝・帰りの会) ・進行表、板書計画の作成。 (休み時間) 	<ul style="list-style-type: none"> ・めあてに合った意見を考えられるよう全体に説明できるように、打ち合わせておく。 ・話し合いの進め方についての補足や、その他注意事項については、事前に教師が指導する時間を取り、徹底できるようにする。 	
11月5日 (水)	<ul style="list-style-type: none"> ・話し合いカードを回収し、意見を分類して短冊に書いておく。 (休み時間) ・話し合いの進め方を確認する。 (休み時間) 	<ul style="list-style-type: none"> ・掲示用に大きく書き話し合い前に黒板に貼っておくよう打ち合わせておく。 ・集団決定の前に「集団のためによりめあてに近づいた意見にする」ことを、全体に改めて意識付けできるように打ち合わせておく。 	

5 本時の展開

- (1) **ねらい** みんなが音楽の楽しさを味わえるような音楽集会をしよう。
- (2) **準備** 教師：司会団の席次札、議題・めあて・話し合うことの掲示用カード、
 児童：話し合い大作戦！カード(話し合いカード)
 計画委員：進行表(全員)、座席表(指名係)、板書計画(黒板記録)、
 学級会ノート(ノート記録)、みんなの意見を書いた短冊

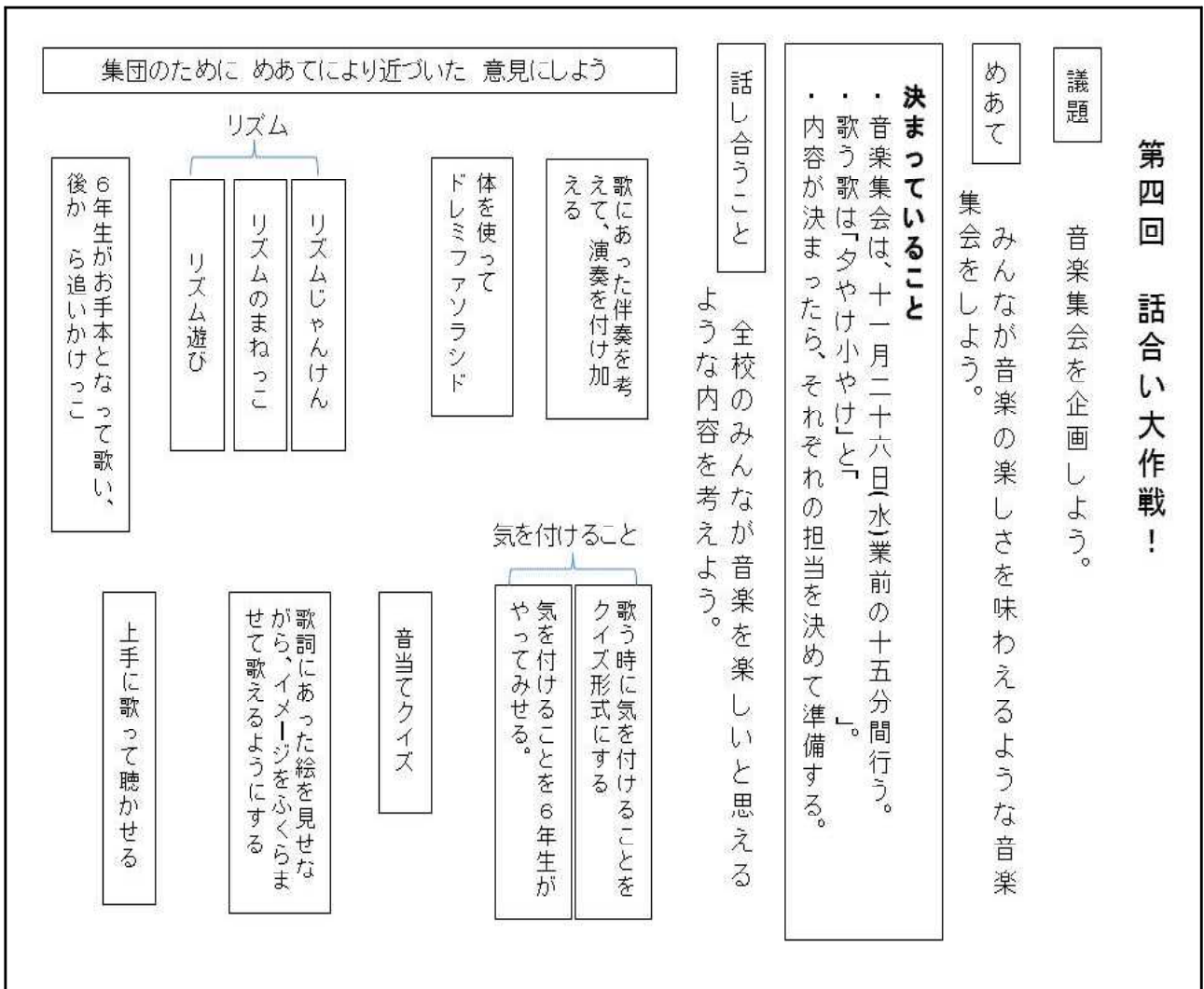
(3) 展開

学習活動 予想される児童の反応	時間 (分)	指導上の留意点及び支援・評価 (◎努力を要する児童への支援 ◇評価 ☆研究との関わり)
【開始前】 短冊を見てみんなの意見を知る。 <ul style="list-style-type: none"> ・歌う時に気を付けることをクイズ形式にしてみんなに分かってもらえるようにする。 ・6年生がお手本となって歌い、後から追いかけっこで歌えるようにする。 ・歌詞にあった絵を見せながらイメージをふくらませて歌えるようにする。 		<ul style="list-style-type: none"> ・あらかじめ計画委員会が準備した短冊を利用し「出し合う」時間を省略し、「分かり合い」の時間を確保できるようにする。

<p>・みんなで元気よく歌う。</p> <p style="text-align: right;">など</p>		
<p>1・議題、提案理由、めあて、話し合うことを確認する。</p>	<p>3</p>	<p>・司会の声の大きさや話し方が不適切であった場合には助言する。</p>
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>議題 音楽集会を企画しよう。 めあて みんなが音楽の楽しさを味わえるような音楽集会をしよう。 話し合うこと 全校のみんなが音楽を楽しみと思えるような内容を考えよう。</p> </div>		
<p>2 話し合い</p>		<p>☆会を通して、聞く視点「うさぎの耳」で聞くことを意識できるよう声がけできるようにする。</p> <p>・計画委員の紹介等は事前に済ませてあるので省略する。</p>
<p>① 聞き合いタイム</p> <p>・誰がどんな意見を持ち、どうしてそう思ったのかを聞き合い、様々な意見を受け入れる。</p>	<p>1 0</p>	<p>◎話し合いカードにあらかじめ教師が目を通して励ましなどのコメントを入れておくことで、自信を持って話し合いに臨み、発表できるようにする。</p> <p>・話し合いカードをもとに出されそうな意見を計画委員にアドバイスして把握させておくことで、話し合いの流れを予測しながら自分たちの力で進行できるようにする。</p> <p>☆「聞き合いパターン」の慣れたパターンを用い、計画委員が中心となって主体的な話し合い活動ができるようにする。</p> <p>☆「うさぎの耳」で聞き、友達の意見を正しく理解し公平に判断して受け入れられるようにする。</p>
<p>② しんかタイム</p> <p>・これまでの聞き合いを振り返り、自分の意見を見直して、個から集団への意見へ深める。</p>	<p>3</p>	<p>☆「しんかのもと」を手がかりとし、めあてに向かって自分の意見を整理することで、自分の意見を改めて見直し集団の一員としての意見へと深めていけるようにする。</p>
<p>③ 分かり合いタイム</p> <p>・全員の意見を比べ合い、練り合ってお互いの意見のよさを生かしながら合意点を見いだす。</p>	<p>2 5</p>	<p>☆「うさぎの耳」「しんかのもと」「話す型」を用い、目的を持って聞き、それを受けて話すことで、みんなの意見のよさを生かしながら、集団としての意見をまとめていくことができるようにする。</p> <p>☆めあてである「みんなが音楽の楽しさを味わえるような音楽集会をしよう」を意識付けてから分かり合いタイムに経入れるよう、計画委員と打ち合わせしておく。</p> <p>・公平に判断し折り合いが付けられるよう支援する。十分に分かり合えている場合には、多数決を取るのもよいことを理解させる。</p> <p>・児童の発表に対しては頷きながら聞き、良い態度に対しては賞賛し、自信を持たせたり真似しようとしたりできるようにする。</p> <p>・めあてである「みんなが音楽の楽しさを味わ</p>

		<p>えるような」というところが大事であることを司会者とよく確認しておき、話が逸れてしまった場合には、修正できるよう促す。</p> <p>◎カードに書かれていることをもとに、自信を持って自分の意見を発表できるよう言葉がけする。</p> <p>◇思考・判断・実践</p> <p>公平に考え、判断し、自分の意見を変容させたり他の意見に譲歩したりして集団としての意見をまとめようと話し合っている。</p> <p>(観察・話し合いカード)</p>
3 振り返り	4	<ul style="list-style-type: none"> ・司会グループの頑張りを認め合う場をつくる。 ・それぞれの頑張りを認め、賞賛して、次回の学級会への意欲を持てるようにする。

(4) 板書計画



「話し合い大作戦！」

教師用資料集

- 資料1 「話し合い大作戦！」って？ ♪「話し合い大作戦！」の特徴を
つかみましょう！
- 資料2 「聞き合いパターン」って？ ♪学級の状態に合った
パターンを選びましょう！
- 資料3 聞く視点「うさぎの耳」 }
資料4 しんかのもと } ♪児童が目にするところに掲示して、
いつも意識できるようにしておきま
しょう！
- 資料5 話す型 }
- 資料6 「話し合い大作戦！」計画委員の事前の活動支援表 }
資料7 「話し合い大作戦！」学級全体への活動支援表 } ♪事前の指導が
話し合い成功への
カギ！
- 資料8 「学級活動コーナー」「短冊」の例 ♪例を参考に、子どもたちと
楽しい学級会を作りましょう！

さあ！
「話し合い大作戦！」を
始めましょう！



児童配布用

- 資料9 「話し合い大作戦！」計画委員の事前の活動
- 資料10 進行表
- 資料11 「話し合い大作戦！」カード 低学年用
- 資料12 「話し合い大作戦！」カード 中学年用
- 資料13 「話し合い大作戦！」カード 高学年用

「話し合い大作戦！」・・・って？

話し合い活動に
「聞き合いタイム」
「しんかタイム」
「分かり合いタイム」の
3つを取り入れます！



「話し合い大作戦！」とはこんな話し合いです

出し合う

比べ合う

決める

聞き合いタイム

意見を出し合い
友達と自分の意見を
比べる時間

しんかタイム

自分の意見を見直す時間

分かり合いタイム

全員の意見を
比べ合い
練り合う時間

個の意見

集団としての意見へ

聞き合いパターン

まず、3つのパターンから学級の状態に合ったものを選びます。



学級の状態に合わせた聞き合いができる

友達の意見を正しく理解し
公平な判断へ

しんかのもと

- く っつける
- え ら ぶ
- べ つのものにいいかえる
- あ いだをとる
- い いところをまとめる

めあて

集団のために、めあてにより近づいた意見にしよう

友達の意見のよさを
取り入れることができる

自分の意見を
集団としての意見へと深める

話す型

自分の意見を話すとき
「私の考えは〇〇です。理由は△△だからです。どうですか？」

意見を聞いて・・・

- ★ 同意するとき 「それはいい意見ですね」「私もそう思います」「私も似たようなことを思いました。」「なるほど そう思ったんですね」
- ★ 意見が異なるとき 「〇〇さんの意見もいいと思いますが、私の意見はちょっと違って・・・です。」
- ★ 確かめたいとき・理解が難しかったとき 「〇〇って どんなことですか」「〇〇さんの意見は～ということですね」

聞いたことに対して自分の考えを述べるができる

意思の疎通を図り意見を認めることやよさに気付く

話を聞くとき必ず使う！

いつも聞いた後に自分が話すつもりで！

- う なずいて
友達の意見のよさをみとめながら聞く
- さ いごまで
大事なことは何かまよめながら聞く
- ぎ もんをもって
本当にそうなのか公平にはんだんしながらどうしてそう思ったのか考えながら聞く

聞く視点

思考を働かせながら聞くことができる

友達の意見を受け入れ正しく聞き公平に判断することができる

聞き合いタイムのポイント！

- ・どうしてそういう意見をもったのか、理由も聞き合えるようにします。
- ・ここでは賛成・反対は述べずに意見を出し合うだけにします。
- ・わからない言葉等があったら、ここで確認し合っておきます。

しんかタイムのポイント！

- ・これまでの聞き合いを振り返って、頭の中を整理できるようにします。
- ・より深く考え、自分の意見を進化(深化)させられるように、一人で黙って考える時間とします。

分かり合いタイムのポイント！

- ・分かり合いタイムに入るとき「**集団のためにめあてにより近づいた意見にする**」ことをしっかりと意識付けさせておくことで、集団決定の様子が変わってきます。
- ・意見をしぼる時には「しんかのもと」を使い、それぞれの意見を比べ合っってよさを生かしながらまとめていけるようになります。



聞く視点

いつも
聞いた後に
自分が話す

つもりで！



うさぎの耳で聞く

う なずいて

友だちの意見のよさをみとめながら聞く

さ いごまで

大事なことは何かまとめながら聞く

ぎ もんをもって

本当にそうなのか公平にはんだんしながら
どうしてそう思ったのか考えながら聞く

しんかのもと

めあて

く っつける

え ら ぶ

べ つのものにいいかえる

あ いだをとる

い いところをまとめる

集団のために めあてにより近づいた
意見にしよう



話す型 聞く → 話す



自分の意見を話すとき

「私の考えは〇〇です。理由は△△だからです。どうですか？」



意見を聞いて・・・

- ★ 同意するとき 「それはいい意見ですね」「私もそう思います」
「私も似たようなことを思いました。」
「なるほど そう思ったんですね」
- ★ 意見が異なるとき 「〇〇さんの意見もいいと思いますが、
私の意見はちょっと違って・・・です。」
- ★ 確かめたいとき・理解が難しかったとき
「〇〇って どんなことですか」
「〇〇さんの意見は～ということですね」

「話し合い大作戦！」 計画委員の事前の活動支援表



議題の決定

議題「

提案理由(発表者は指名係 名前

めあて「

話し合うこと「

② 提案理由やめあては話し合いのよりどころとなるものなので、しっかりと話し合わせる。

③ 何をどのように話し合う必要があるのかを決めておく。事前に話し合う必要があることはないか確認する。

① 児童にとって必要館を感じられるような内容になるように考えさせる。

「～しよう」「～を決めよう」「～をつくろう」等、わかりやすく意欲が持てるような文にまとめられるようにする。

- ・議題箱の中から
- ・生活上の諸問題から
- ・児童会活動や学校行事との関連から
- ・年間計画から
- …など

役割分担

月 日()の()

役割	名前	いつ
司会		進行表をもとに
指名		座席表
黒板記録		板
ノート記録		字

④ それぞれが事前・話し合い・事後にどんな役割を果たしたらよいのかを考えられるようにする。

⑤ 準備する物の準備を支援する。

⑥ 進行表・板書計画を共に作成する。

⑦ 作成した進行表をもとに、話し合いの進め方を共に確認する。出される意見を予測してアドバイスする。

活動計画・準備しておくことの確認

いつまでに	月/日	活動
1週間前	/	議題/めあて/話し合う 学級

進行表

分かれ合いタイム	しんかタイム	聞き合いタイム	考えを出し合う	みんなの学習活動	時間
「すみこが来るよ」 「すみこが来るよ」 「すみこが来るよ」	「進化したよ」 「進化したよ」 「進化したよ」	「話し合い」 「話し合い」 「話し合い」	「話し合い」 「話し合い」 「話し合い」	みんなの学習活動	15 3 6 3

板書計画

議題
第六回 話し合い大作戦！
スポーツ大会をしよう。

めあて
みんなが活やくできるようなスポーツ大会をしよう。

決まっていること
・十一月二十日(木)五・六校時に
行う。
・校庭または体育館で行う。
・個人種目をつつ
・団体種目を二つ決める。
・種目が決まったら、それぞれの
担当を決めて準備する。

話し合うこと
みんなが活やくできるスポーツを決めよう。
・休み時間している人が多い
・好きな人が多く、
・みんながルールを知っている。
・強い人が活やくしてしまふ。
・ケンカになる。

得意な種目
アンケート結果
・ドッジボール 8人
・サッカー 7人
・けり野球 5人
・なわとび 2人
・つな引き 9人
・リレー 1人

短冊にみんなの意見を書いて


その都度 / その他必要なこと

なこと等がないか計画委員で確認し合う

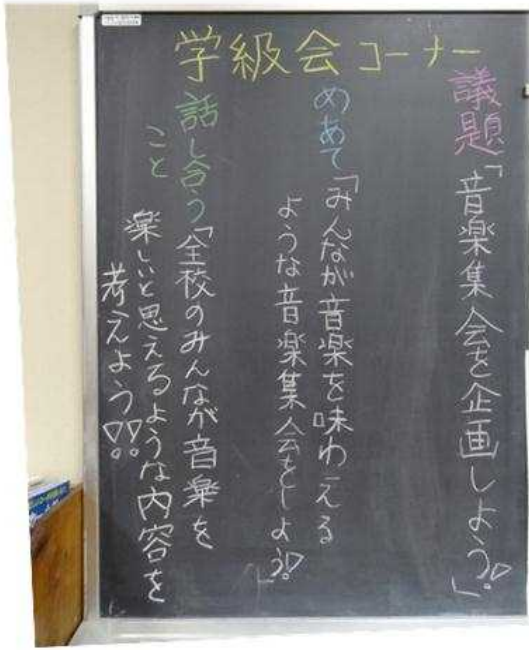
「話し合い大作戦！」

学級全体への事前の活動 支援表

資料 7

ねらい	教師の支援
<p>① 学級会の話し合いとは何かを理解できるようにする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 話し合いとは、意見を聞き合い、分かり合い、比べ合って、みんなの意見のよさを生かしながら集団としての意見へとまとめていくことが理解できるようにする。 <p style="text-align: center;">「集団のために めあてにより近づいた 意見にしよう」</p> <ul style="list-style-type: none"> 「自分がいいと思うから」だけでなく、集団のためにどうか、ということ、めあてと照らし合わせながら考えられるようにする。
<p>② 話し合いの進め方を理解できるようにする。</p> <p>☆「聞く視点」 「聞き合いタイム」 「しんかタイム」 「分かり合いタイム」 等、 話し合い大作戦！で大切にすることや、用いるものについて確認する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 本時の進め方について説明し、見通しをもって話し合い活動を進められるようにする。 <p>聞く視点 を意識し、話し合い活動を通して「聞く」ことを大切にできるようにする。</p> <p>聞き合いタイム とは、意見を出し合い、友達と自分の意見を比べ合いながら様々な意見を受け入れる時間である。</p> <p>学級の状態に合わせた 聞き合いパターン や 聞く視点 を用い、友達の意見を正しく理解し、公平な判断ができるようにする。</p> <p>しんかタイム とは、意見を聞き合った後に、自分の意見を見直し、自分の意見を集団としての意見へと深めていく時間である。</p> <p>その際には、 しんかのもと を手がかりとして、友達の意見のよさを取り入れる。</p> <p>分かり合いタイム とは、全員の意見を比べ合い練り合う時間である。</p> <p>対話の型「聞く→話す」 しんかのもと を用い、聞いたことに対して自分の考えを述べ、意思の疎通を図り、意見を認め合い、お互いの意見のよさに気付いてそれを生かそうとすることができるようにする。</p>
<p>③ 自分の意見を持ち、自信をもって話し合い活動に参加できるようにする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 話し合い大作戦！カード に書かれた意見に前もって目を通し、よさを認めたり励ましたりするコメントを付けて、児童が自信をもって話し合いに参加できるようにする。 意見がもてない児童には、友達の考えを紹介したり、教師が質問したことに対する答えを文章化させたりして、個別に支援をする。
<p>④ 話し合い活動をする上での注意事項を徹底し、必ず守れるようにする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 絶対に人の意見を否定しない。 指名されたら、返事をして発言する。 集団決定の仕方について確認しておく。 決まったことには必ず従う。 <div style="border: 2px solid green; border-radius: 50%; padding: 10px; margin-top: 10px;"> <p>事前にこれらのことをしっかりと理解させましょう。話し合いのルール・の定着により、集団としての意見をまとめていこうとする、よりよい聞き合い・分かり合いの時間へとつながります。</p>  </div>

学級活動コーナーの例



6年生の教室の例

聞く視点

- ⑤ なずいて (両論の意見を聞き入れる)
- ⑥ いごまで (両論の意見を詳しく理解する)
- ⑦ もんをもって (両論の意見を公平に判断する)

しんかのもと

めあて

- くっつける
- えらぶ
- べつものいいかえる
- あいだをとる
- いいところをまとめる

話す型

自分の意見を話すとき
「私の考えは〇〇です。理由は△△だからです。どうですか?」

意見を聞いて・・・

- ★ 同意するとき: 「それはいい意見ですねが私もそう思います」「私も似たようなことを思いました」「なるほど そう思ったんですね」
- ★ 意見が異なるとき: 「〇〇さんの意見もいいと思いますが、私の意見はちょっと違って・・・です。」
- ★ 確かめたいとき・理解が難しかったとき: 「〇〇って、どんなことですか?」「〇〇さんの意見は～ということですね?」

- ・ 計画委員会のメンバー
- ・ 議題
- ・ めあて
- ・ 話し合うこと
- ・ 話し合いの時の約束
- ・ 他には・・・
- ・ 決まっていること
- ・ アンケート結果
- ・ グループ分け など
- ・ 掲示できるようなしておけるといいですね



1年生の教室の例

いままで学級会で話し合ってきたことを掲示しておく、これまでの話し合いをふり返ったり、決めたことをみんなで実行していこうという意欲付けになったりします。

短冊の活用例

事前に計画委員がみんなの話し合いカードをもとに意見を短冊にまとめておくことで、出し合う時間を省き、聞き合い・分かり合う時間の確保につなげることができます。

意見の練り合いの際にも便利に使えます！



「話し合い大作戦！」 計画委員の事前の活動

議題の決定

議題 「 _____ 」

提案理由(発表者は指名係 名前 _____)

めあて 「 _____ 」
話し合うこと 「 _____ 」

役割分担

学級全体への自己紹介は 月 日()の(いつ _____)

役割	名前	
司会		進行表をもとに会の進行をする。
指名		座席表で発言者をチェックしながら指名する。
黒板記録		板書計画を参考に意見をまとめて板書する。
ノート記録		学級会ノートへの記録・計時・最後に決まったことを発表する。

活動計画・準備しておくことの確認

いつまでに	月/日	活動	担当者	活動の詳細
1週間前	/	議題/めあて/話し合うことを学級活動コーナーに書く	黒板記録	話し合い前には黒板に書いておく
	/	事前に話し合うことの 有・無 を計画委員で話し合う	司会を中心に	(/)の()で提案決まったことを学級活動コーナーに書く
	/	アンケートをする必要の有・無を計画委員で話し合う		(/)までに作成 (/)の()で配布 (/)の()で回収
	/	話し合い大作戦！カードの作成	ノート記録	印刷は先生にお願いする
5日前	/	配布・説明 回収	黒板記録 ノート記録	議題や提案理由・めあて・話し合うことを説明しながら配布し、何日のいつ回収するかを伝えながら配る。
	/	グループ分けの有・無を計画委員で話し合う	司会を中心に	(/)までに考えて()で発表 学級活動コーナーに掲示
前日	/	短冊にみんなの意見を書いておく	黒板記録 ノート記録	話し合い前には黒板に掲示しておく
その都度	/	その他必要なこと	司会を中心に	事前に話し合っておくべきこと・話し合っておいた方が本時の話し合いがうまくいきそうなこと等がないか計画委員で確認し合う

進行表

話合いのめあて

まとめ

分かり合いタイム

しんか
タイム

聞き合いタイム

考えを
出し合う

みんなの学習活動

時間

計画委員が気をつけることなど

きだい

めあて

はなしあうじ

じぶんのかんがえ

じぶんもみんなも
いいように
めあてにちかづいた
いけんにしよう！

しんか！

ともだちのいけんを
きいて...

「うさぎ」の
みみで！

じぶんのかんがえ

ももったこと

〈かんそう〉

◎・○・△で ふりかえってみよう

- うさぎのみみで きけた.....()
- きく→はなす ができた.....()
- 「じぶんも みんなも いいように めあてにちかづいた いけんにしよう」というきもちではなしあえた.....()

ふりかえり

しゅうだんのために めあてに よりちかづいた いけんにしよう

はなしあいだいさくせん！
カード

ねん ばん
なまえ

きだい

めあて

はなしあうこと

じゅんのかんがえ

<りゆう>

しんか！

メモ

聞き合いタイムで友だち
の意見を聞いて...

「うさぎ」の
みみで！



じゅんのかんがえ

<りゆう>

お書ったこと

<かんそう>

◎・○・△で ふりかえってみよう

- うさぎのみみで きけた.....()
- きく→はなす ができた.....()
- 「しゅうだんのために めあてによりちかづいた いけんにしよう」というきもちではなしあえた.....()

ふりかえり

話し合い大作戦！ カード

名前 _____
年 番 _____


集団のために めあてにより近づいた 意見にしよう

議題			
めあて			
話し合うこと			
自分の考え	自分の考え	<理由>	<理由>
決まったこと			

しんか！

メモ

聞き合いタイムで
友だちの意見を
聞いて...



「うさぎ」の
耳で！

<感想>

◎・○・△で 振り返ってみよう

- うさぎの耳で 聞けた.....()
- 聞く→話す ができた.....()
- 「集団のために めあてにより近づいた 意見にしよう」
という気持ちで話し合えた.....()

振り返り